

報道関係者各位

No.-61117

2013年5月24日
株式会社東陽テクニカ**東陽テクニカ、10/40/100G イーサの多ポート試験を可能にする測定器を国内販売**

～次世代データセンタやキャリアクラスのハイスケラビリティ/パフォーマンス測定を実現～

株式会社東陽テクニカ(本社:東京都中央区、代表取締役社長 五味 勝、以下「東陽テクニカ」)は、ネットワークのバックボーンで利用される10/40/100G イーサの多ポート試験を可能にする新しい測定器の国内販売を開始致します。

クラウドの浸透やスマートフォン/タブレット端末の普及により国内のIPトラフィックは増加の一途をたどっており、こうした中クラウド事業者やサービスプロバイダにはエンドユーザQoS(Quality of Service)を高めるための設備構築/増強が不可欠となっています。また、通信キャリアにとってはネットワークのスケラビリティやパフォーマンスが課題となっており、これらのソリューションとして10G イーサの多ポート化や40/100G イーサ導入が進んでいます。

今回販売を開始する測定器は、東陽テクニカが総代理店となっている米国スパイレント・コミュニケーションズ社(以下「スパイレント社」)が提供する100G イーサ対応の「Spirent mX 100G CFP2 モジュール」、10/40G イーサ対応の「Spirent fX2 モジュール」および「Spirent dX2 モジュール」、そして新ハードウェアと従来のSpirent TestCenter モジュールを同時に搭載可能な「SPT-N シャーシ」です。

新ハードウェアは従来のSpirent TestCenter モジュールと比較してポート密度を2～2.5倍に高めています。同時にポート単価も最大25%低減し、単体試験から多ポートのシステム試験まで測定環境を柔軟に構築することが可能です。

東陽テクニカは2010年2月に第一世代のSpirent製100G イーサ測定器を国内リリース後、2011年10月には第二世代の100G イーサ測定器をリリースするなど、順調に高速イーサ測定器の出荷を重ね国内市場に支持されてきました。今回の新ハードウェアは100G イーサ測定器の第三世代に相当し、さらなる出荷を見込んでおります。

なお、これらの新ハードウェアは5月30日から開催されるiPOP 2013と、6月12日から開催されるInterop Tokyo 2013で展示を予定しています。

iPOP (IP + Optical Network) 2013 | The 9th International Conference on IP + Optical Network

開催場所: TKP 大手町カンファレンスセンター

開催日時: 2013年5月30日(木)～5月31日(金)

<http://www.pilab.jp/ipop2013/>

Interop Tokyo 2013 | “More Clouds, More Ways, More Innovations”

開催場所: 幕張メッセ

開催日時(展示会): 2013年6月12日(水)～14日(金)

<http://www.interop.jp/2013/>

■新ハードウェア紹介

Spirent mX 100G CFP2 モジュール: 100G CFP2 インタフェース対応モジュール

- ・mX-100G-P2(CFP2 インタフェース 2 ポート搭載)
100G イーサ × 2 ポート、ハイプロトコルパフォーマンス・モジュール
- ・fX-100G-P2(CFP2 インタフェース 2 ポート搭載)
100G イーサ × 2 ポート、パフォーマンス・モジュール

Spirent fX2 モジュール: 10/40G デュアルスピード対応 パフォーマンス・モジュール

- ・fX2-40G-Q5(QSFP+インタフェース 5 ポート搭載)
10G イーサ × 20 ポート、40G イーサ × 5 ポート動作可能
- ・fX2-40G-Q3(QSFP+インタフェース 3 ポート搭載)
10G イーサ × 12 ポート、40G イーサ × 3 ポート動作可能

Spirent dX2 モジュール: 10/40G デュアルスピード対応 高密度モジュール

- ・dX2-40G-Q8(QSFP+インタフェース 8 ポート搭載)
10G イーサ × 32 ポート、40G イーサ × 8 ポート動作可能

SPT-N シャーシ: 次世代 IP スケーラビリティ/パフォーマンステスト・プラットフォーム

- ・SPT-N11U(12 スロットシャーシ)
新モジュールと従来の Spirent TestCenter モジュールを最大 12 枚搭載可能

予定価格: 約 3,600 万円(税抜) ~
年間販売目標: 100G イーサ 30 ポート
発売予定日: 2013 年 7 月

■製品紹介 URL

<http://www.toyo.co.jp/spirent>

■関連 URL

スパイレント社ニュースリリース

http://www.spirent.com/About-Us/News_Room/Press-Releases/2013/05-01-13_Spirent_Intros_New_Testing_Hardware



[米国スパイレント・コミュニケーションズ社 (Spirent Communications)について]

スパイレント社は、研究開発ラボや通信事業者、通信機器製造会社、一般企業の IT 部門などで使用されるテスト機器の製造販売やコンサルティングサービスを行う業界のリーダ企業です。同社のソリューションによって 10/40/100G イーサなどの有線から無線/衛星通信に至るまで、あらゆるお客様の QoE(Quality of Experience)を高めることができます。東陽テクニカは同社の日本国内における総代理店です。

[株式会社東陽テクニカについて]

東陽テクニカは昭和 28 年の設立より「技術と情報」をキーワードに、最先端の「測るツール」を主として欧米の電子計測器メーカーより輸入し、日本の技術発展に寄与することを使命として、日本の研究者・開発者に提供してきました。「電子技術センター」における修理、校正、技術サポートや自社製品の開発、「テクノロジーインターフェースセンター」で行うお客様向けの各種セミナー・トレーニングなどの取組みは、400 人を超える全従業員の 8 割を占めるエンジニアの技術力に裏付けられています。東陽テクニカはこれからも、「テクノロジーインターフェース」の使命を果たすべく努力してまいります。東陽テクニカに関する詳細は、<http://www.toyo.co.jp> をご覧ください。

スパイレント社製品に関するお問合せは下記までお願いします。

株式会社 東陽テクニカ 情報通信システム営業部

Tel:03-3279-0771 Fax:03-3246-0645 e-mail: spirent-web@toyo.co.jp

また、当社に関するご質問は下記までお願いします。

株式会社 東陽テクニカ経営企画室

Tel:03-3279-0771 Fax:03-3246-0645 e-mail: kikaku@toyo.co.jp

* 記載されている会社名、製品名は、各社の商標、もしくは登録商標です。

* 記載の商品名、価格及び担当部署、担当者、Web サイトの URL などは、本リリース発表時点のものです。